

SEIKO

2013年度（2014年3月期）
第1四半期 決算説明会

2013年8月12日

セイコーホールディングス株式会社

◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

1. 決算の概況
2. 2013年度の見通し

1. 決算の概況

2013年度 損益 - 第1四半期 (期間 4月-6月) -

SEIKO

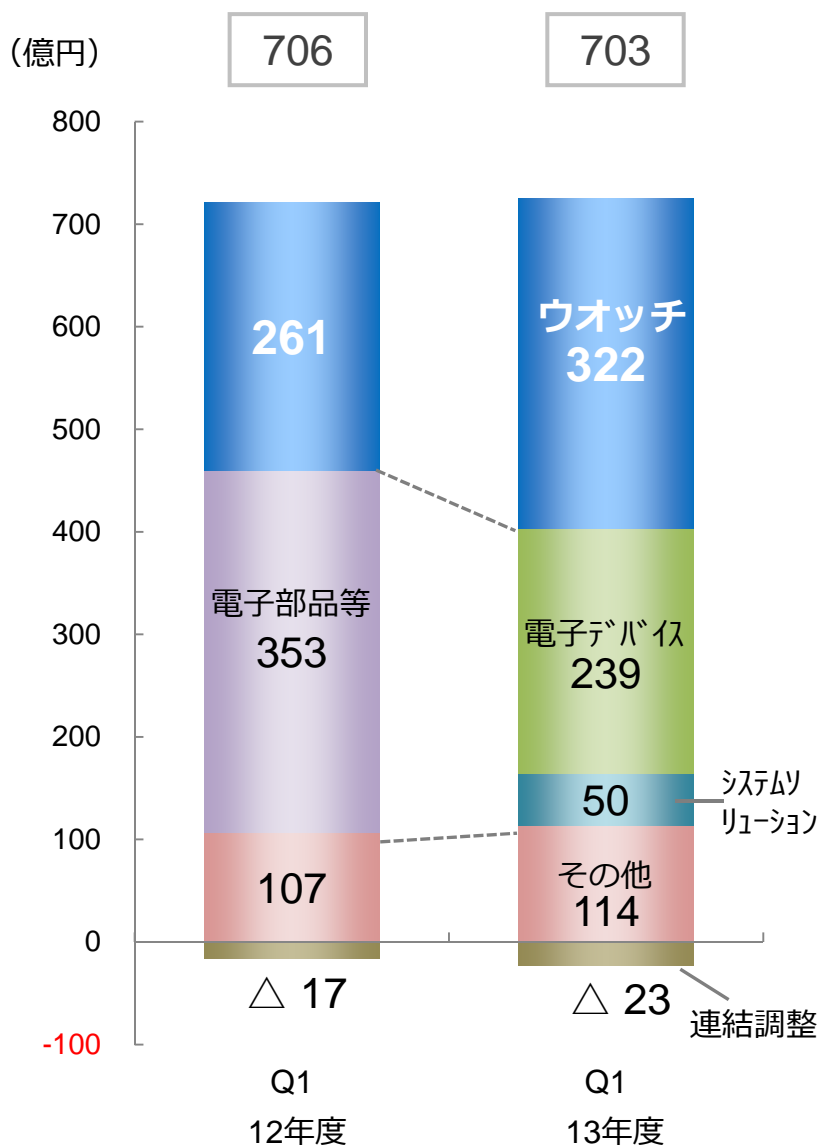
(億円)	12年度 Q1	13年度 Q1	増減			
			増減額	増減比		
売上高	706	703	△2	△0.3%	売上高： 対前年 △2 為替による影響 約+80	
売上総利益	220	232	+11	5.3%	営業利益： 対前年 +0 売上総利益増加 +12 経費増加(広告宣伝費等) △11	
営業利益	28	28	+0	0.0%	経常利益： 対前年 +14 営業利益増加 +0 支払利息減少 +2 為替差損益改善 +10 その他営業外損益改善 +2	
%	4.0%	4.0%	0.0%	-		
経常利益	14	29	+14	102.1%	特別損益内容： 2 特別利益 8 投資有価証券売却益 8 特別損失 △6 賃借契約損失引当金繰入額△ 6	
%	2.0%	4.1%	+2.0%	-		
税前利益	15	31	+16	103.5%		
当期利益	9	34	+25	267.1%		
%	1.3%	4.9%	+3.5%	-		
換算 レート	USD	80.1	98.7	+18.6	+23.2%	
	EUR	102.8	128.9	+26.1	+25.3%	

報告セグメントの変更

第5次中期経営計画の策定とともに経営管理手法を変更したことにより、従来の「電子部品等事業」を「電子デバイス事業」と「システムソリューション事業」に区分した。また、それぞれの事業の量的基準から「ウオッチ事業」、「電子デバイス事業」および「システムソリューション事業」を報告セグメントとして開示し、クロック事業、眼鏡事業等は「その他」の区分に一括して開示する。

旧セグメント	新セグメント	主要な製品および商品	
ウオッチ事業	ウオッチ事業	ウオッチ、ウオッチムーブメント	報告セグメント
電子部品等事業	電子デバイス事業	半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッタ	
	システムソリューション事業	データサービス、情報ネットワークシステム、電子辞書	
クロック事業 眼鏡事業 その他の事業	その他（単純合算）	クロック、眼鏡レンズ・フレーム、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計 他	

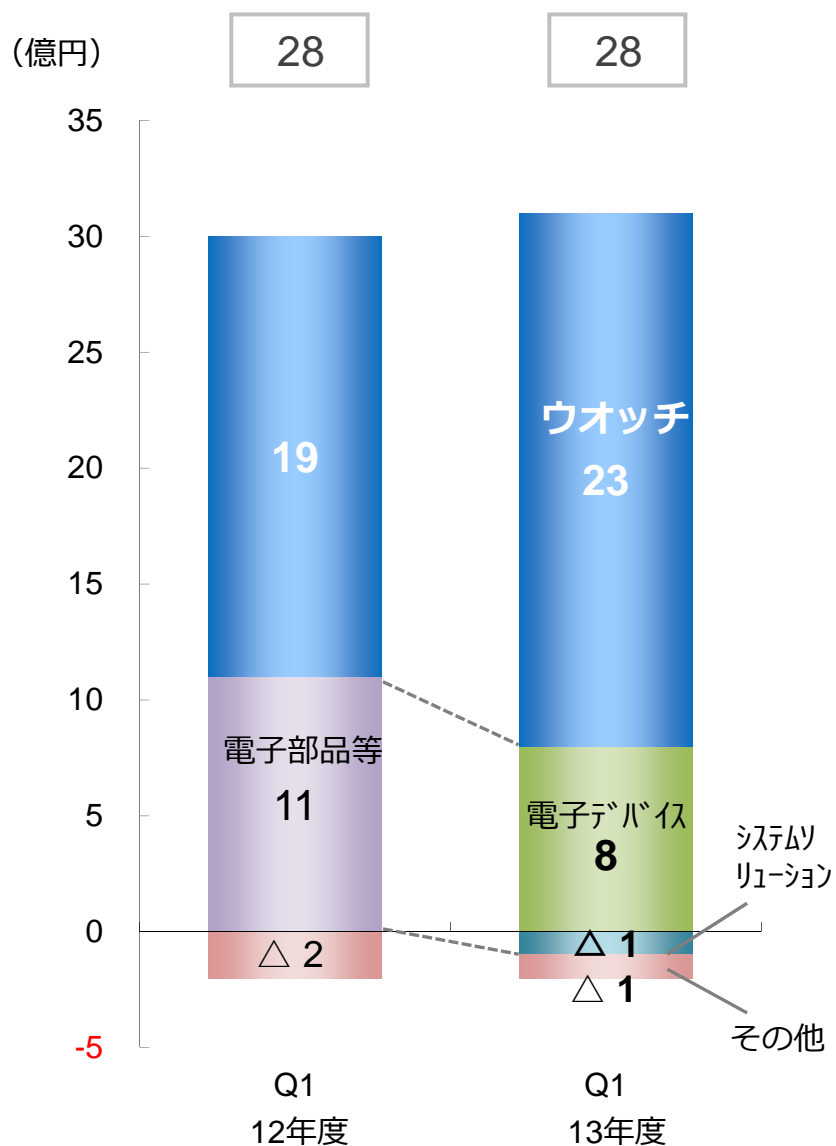
事業別売上高 - 第1四半期 (期間 4月-6月) -



(億円)	売上高		
	12年度 Q1	13年度 Q1	増減
ウォッチ事業	261	322	+60
電子デバイス事業	353	239	-
システムソリューション事業		50	-
計	615	612	△3
その他	107	114	+7
消去又は全社	△17	△23	△5
連結計	706	703	△2

* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

事業別営業利益 - 第1四半期 (期間 4月-6月) -

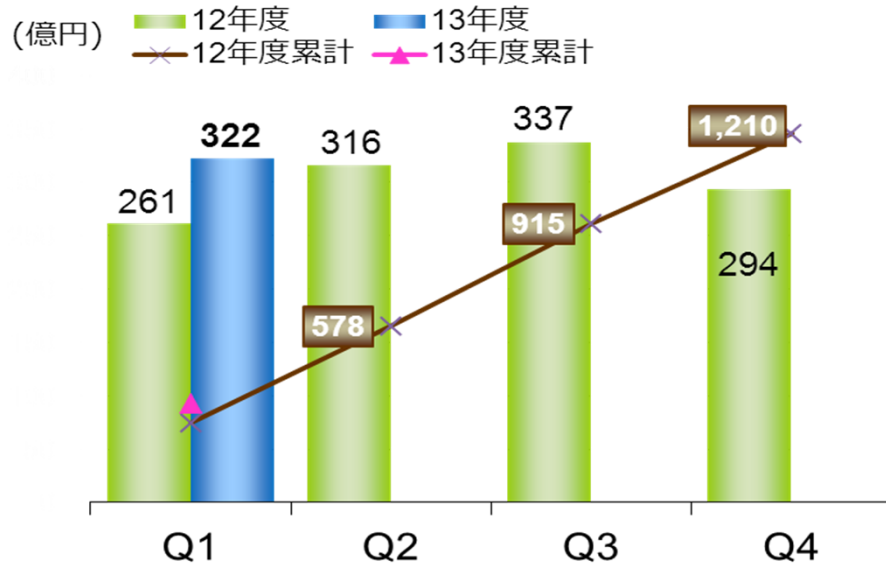


(億円)	営業利益		
	12年度 Q1	13年度 Q1	増減
ウオッチ事業	19	23	+3
電子デバイス事業	11	8	-
システムリノベーション事業		△1	-
計	31	30	△1
その他	△2	△1	+1
消去又は全社	△0	△0	△0
連結計	28	28	+0

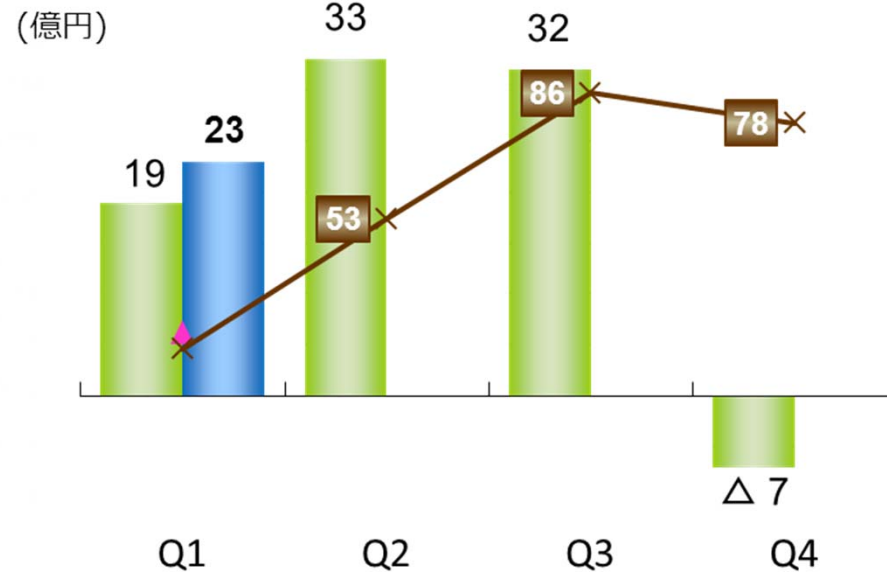
* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

セグメント情報

売上高



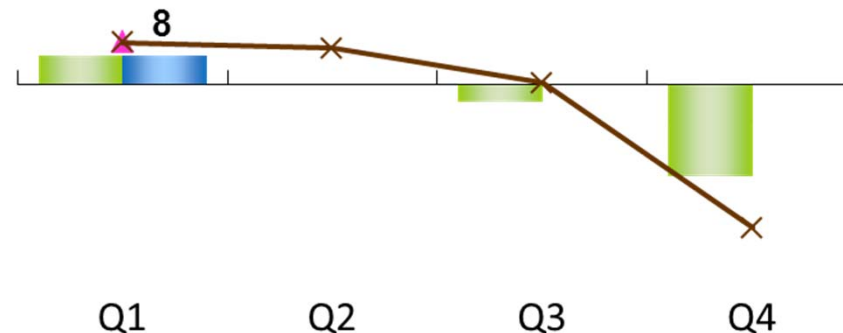
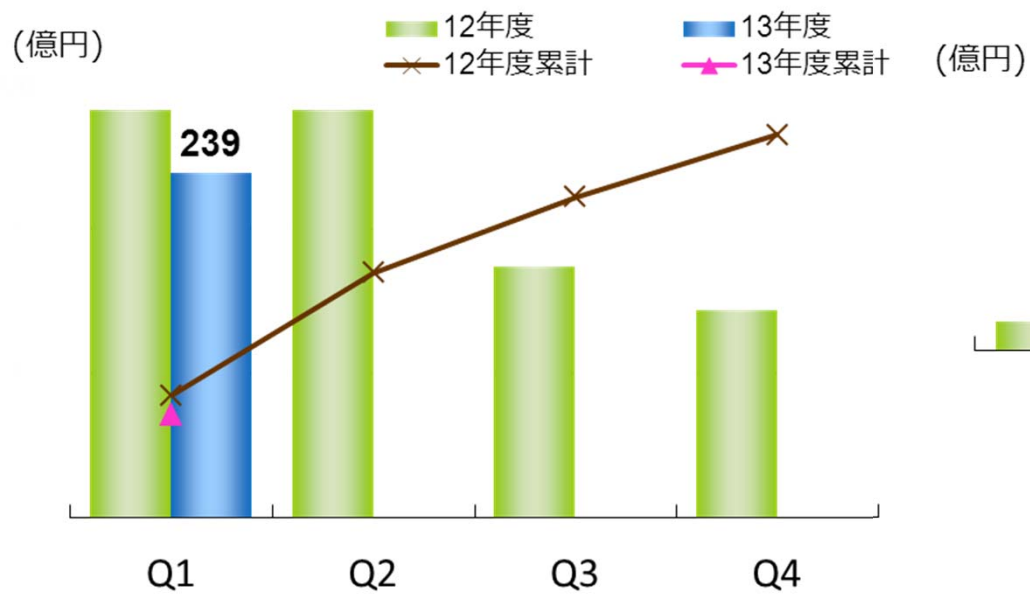
営業利益



- 完成品ウオッチ (国内)** : グランドセイコー、クレドールをはじめ、ルキアやブライツなど幅広い価格帯で売上を伸ばした。GPSソーラーウオッチアストロンの新製品も順調。また、セイコープレミアムウオッチサロンを新たに2店オープン。(合計24店舗)
- 完成品ウオッチ (海外)** : 米国でデパート向け売上が好調に推移。欧州では英国、フランス、ドイツなどで売上を伸ばした。中国では売上を落としたが、アジアでは台湾などで売上を伸ばし、円安効果の影響もあり、海外の売上高は前年同期を大きく上回った。
- ムーブメント** : 円安の進行により価格競争が激しくなる中、高付加価値商品の大手顧客向け売上を中心に売上を伸ばした。

売上高

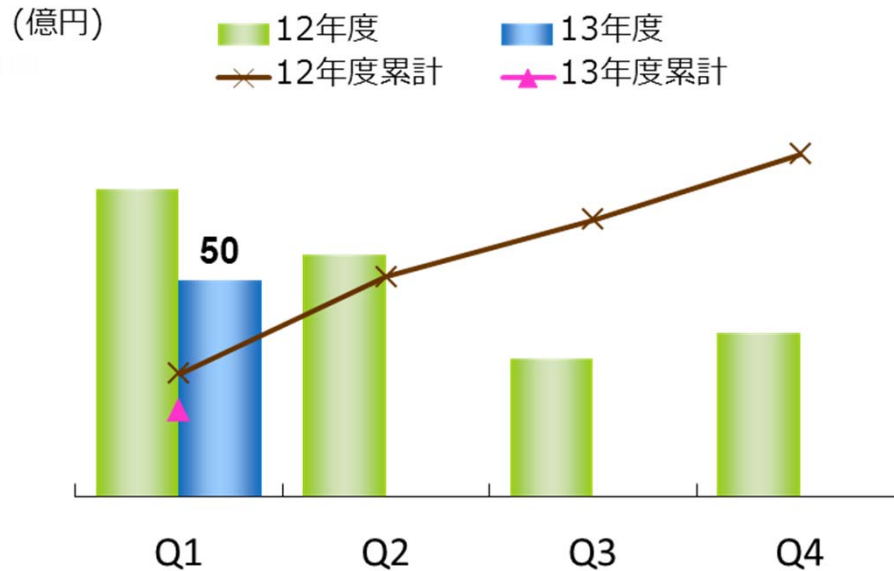
営業利益



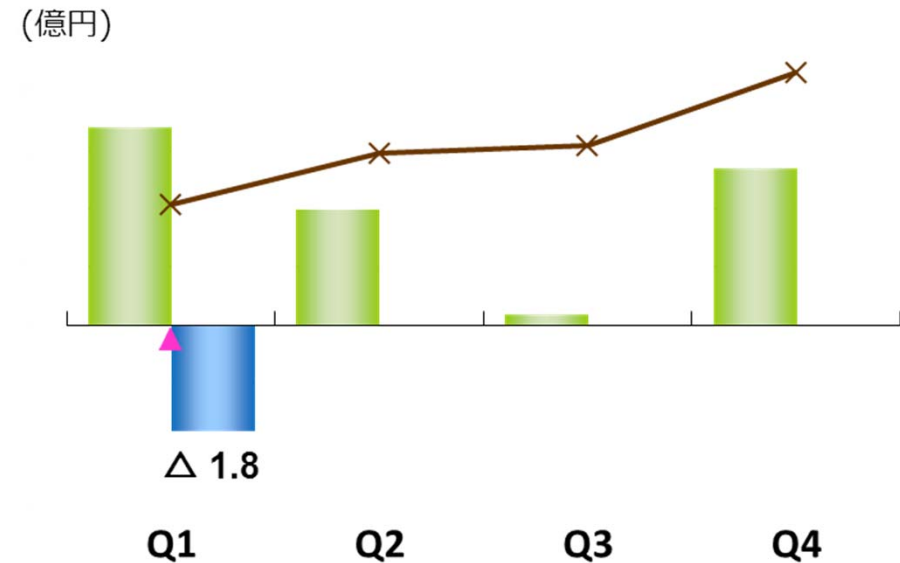
- ・メカトロニクス：ハードディスクコンポーネントはタイの洪水被害の影響を受けていた前年同期より売上が回復。一方、カメラシャッターは客先の在庫調整により売上、利益共に悪化した。
- ・電子デバイス：半導体で車載向け製品等を中心に受注が回復したほか、スマートフォン向けキャパシタの売上も大きく伸びた。
- ・その他：前年同期に対しては1月に売却した科学機器の売上が減少。放射線計測機器は特需だった前年同期の売上を下回ったが、堅調に推移。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値

売上高



営業利益



決済端末関連製品が新製品を中心に売上を伸ばし、エネルギー監視・制御ソリューションの売上、受注も好調に推移した。一方、モバイル関連で円安に伴うコスト上昇への対応のため新製品の投入が遅れる等、その他の売上は伸び悩んだ。売上の減少に加え、円安の影響もあり利益は悪化。営業損失となった。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値

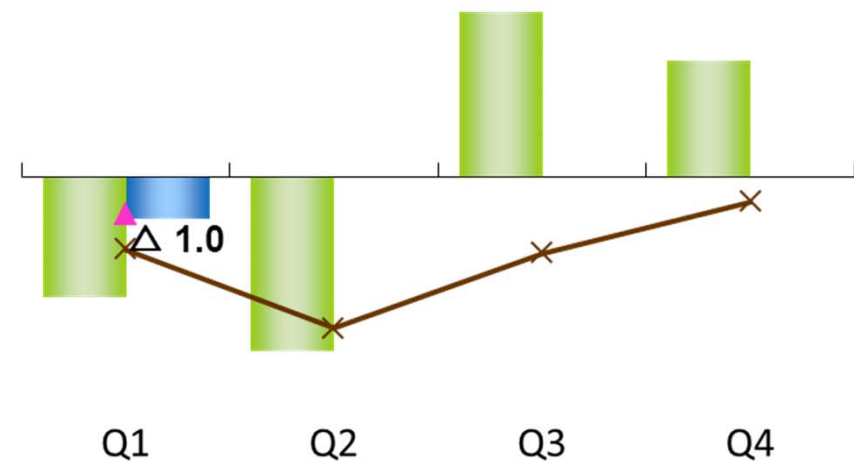
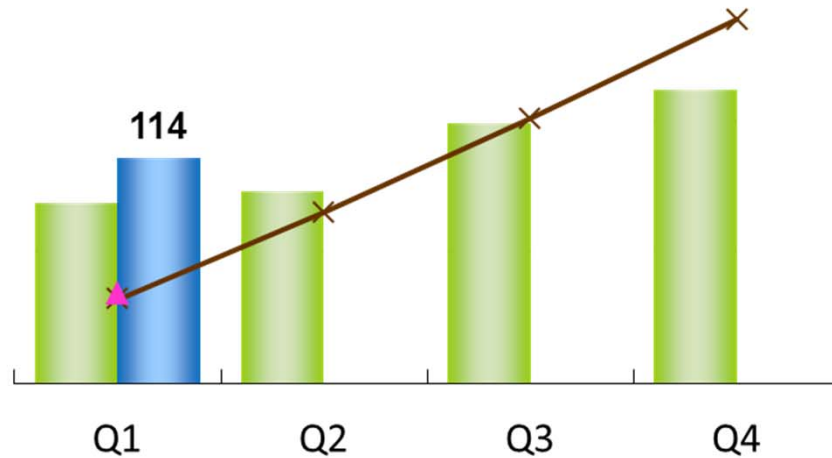
売上高

営業利益

(億円)

■ 12年度 ■ 13年度
 × 12年度累計 ▲ 13年度累計

(億円)



- ・ クロック : 前年同期比で売上は改善したものの、円安の影響を受けコストが増加し、営業損失となった。
- ・ 眼鏡 : 国内では高付加価値レンズが堅調に推移したが、その他の数量が下落し全体としては伸び悩んだ。海外では欧米のチェーン向けビジネスが堅調に推移。為替の影響もあり、前期を上回る結果となった。
- ・ その他 : 和光は日本人に加え海外からの観光客増加により、時計を中心に売上を大きく伸ばした。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値

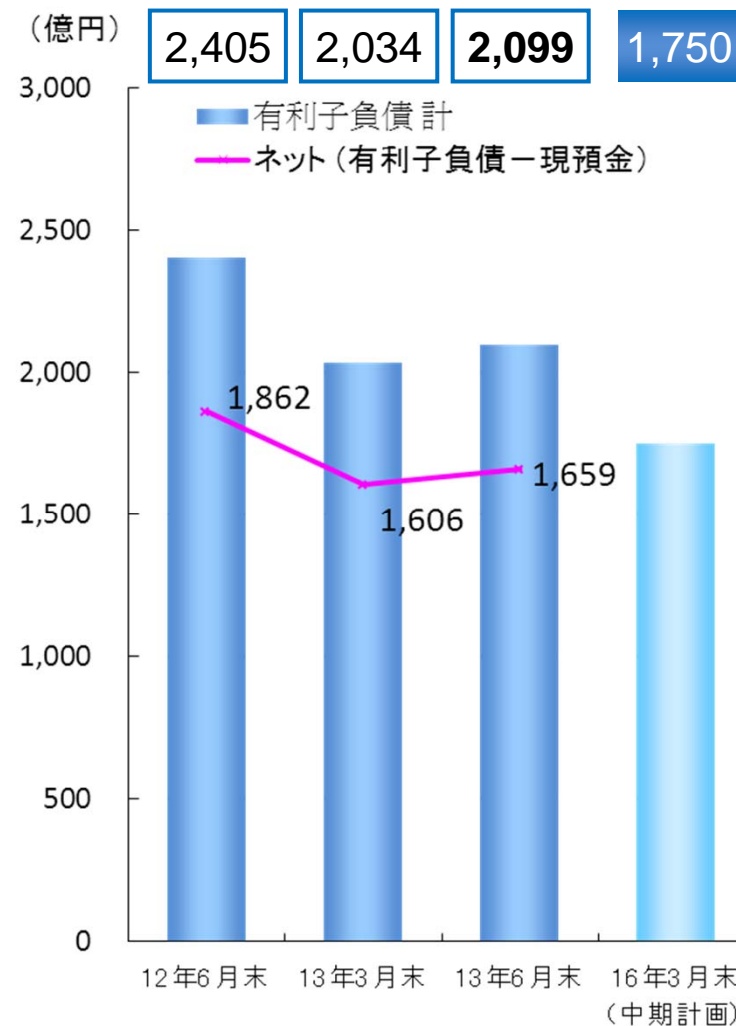
2013年6月末 貸借対照表

(億円)	2012年 6月末	2013年 3月末 (a)	2013年 6月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	644	606	646	+40
有利子負債	2,405	2,034	2,099	+65

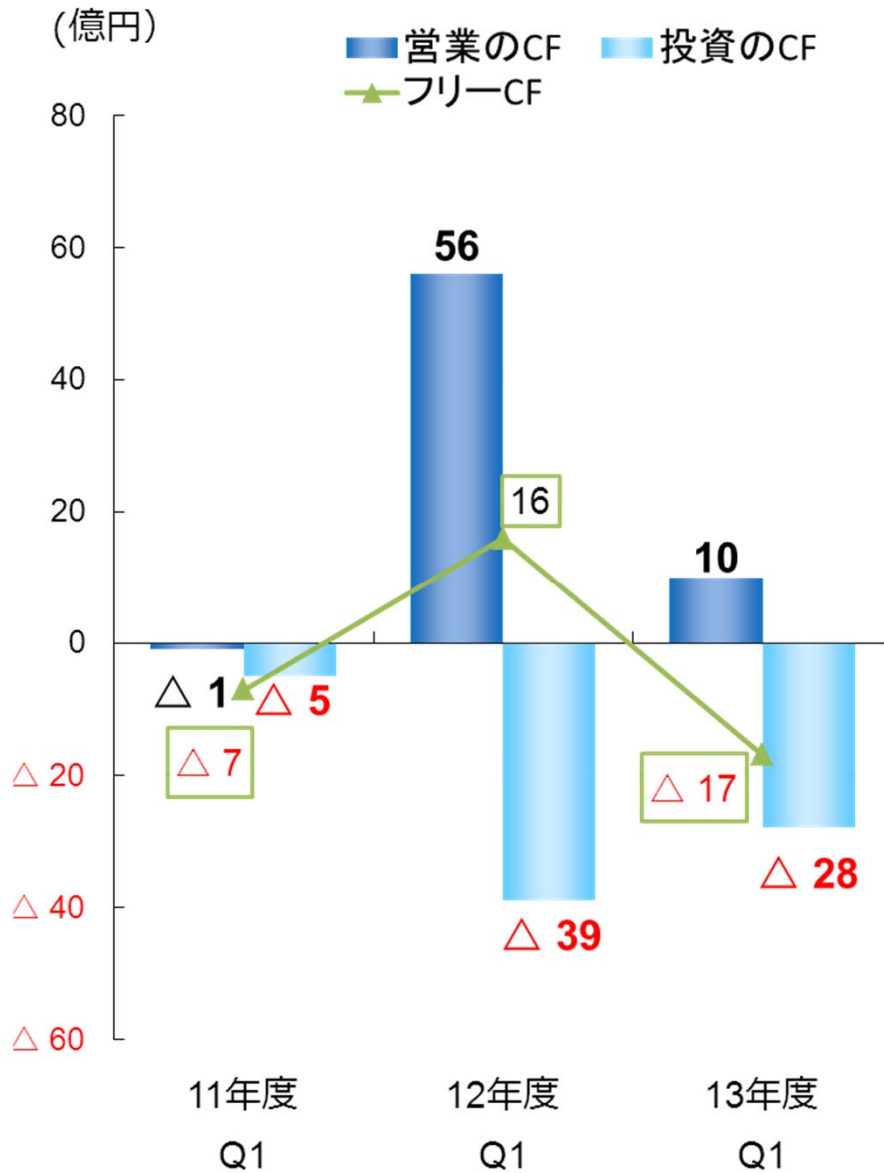
純資産	298	408	504	+96
総資産	3,854	3,553	3,680	+127

自己資本比率	5.6%	11.0%	13.1%	+2.1%
ネットD/E レシオ	6.2	3.9	3.3	△0.6
従業員数	15,468	14,712	14,410	△302

有利子負債



キャッシュフロー



(億円)

	11年度 Q1	12年度 Q1	13年度 Q1
税引前当期純利益	△ 7	15	31
減価償却費	35	31	29
その他	△ 29	8	△ 50
営業のキャッシュフロー	△ 1	56	10
有形固定資産の取得	△ 36	△ 37	△ 40
その他	31	△ 1	12
投資のキャッシュフロー	△ 5	△ 39	△ 28
借入金の借入・返済収支	15	△ 11	51
その他	△ 3	23	△ 6
財務のキャッシュフロー	12	11	45
換算差額等	△ 3	△ 3	△ 16
現金及び現金同等物	520	537	438
フリーキャッシュフロー	△ 7	16	△ 17

2. 2013年度の見通し

(億円)	12年度 実績	前回見通し (5/10)		今回見通し (8/9)		対前回増減			
		上期	通期	上期	通期	上期	通期		
売上高	2,837	1,450	3,000	1,450	3,000	±0	±0		
営業利益	55	45	100	45	100	±0	±0		
%	1.9%	3.1%	3.3%	3.1%	3.3%	±0.0%	±0.0%		
経常利益	32	25	60	30	60	+5	±0		
%	1.1%	1.7%	2.0%	2.0%	2.0%	+0.3%	±0.0%		
当期利益	55	20	50	25	50	+5	±0		
%	1.9%	1.4%	1.7%	1.7%	1.7%	+0.3%	±0.0%		
換算 レート	USD	83.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	±0.0	±0.0
	EUR	107.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	±0.0	±0.0

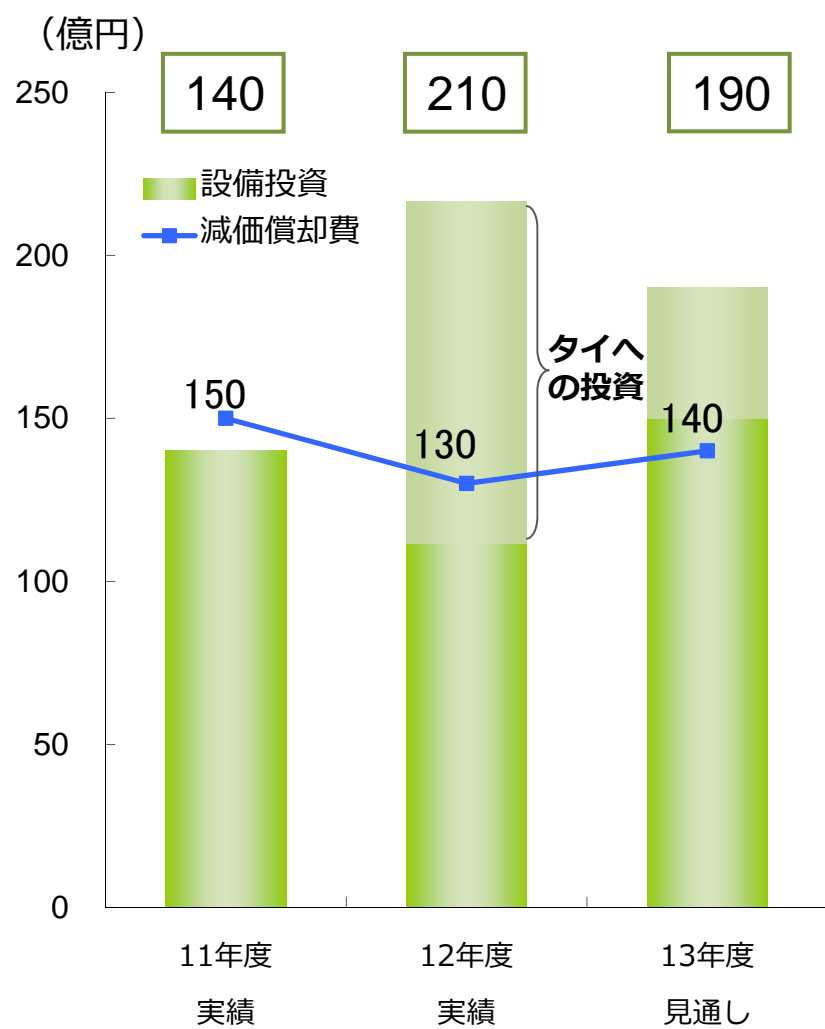
2013年度 見通し - 事業別売上高・営業利益 -

SEIKO

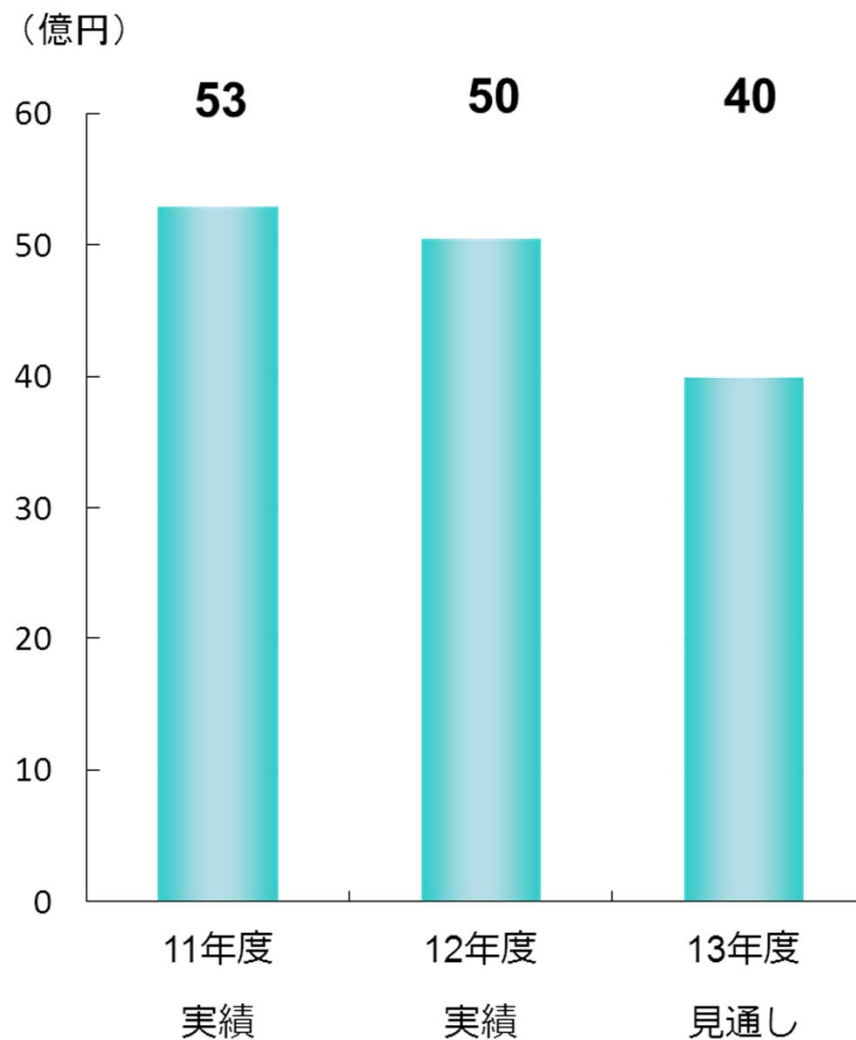
(億円)	売上高				営業利益			
	12年度 (実績)	13年度見通し		対前期 増減	12年度 (実績)	13年度見通し		対前期 増減
		前回	今回(8/9)			前回	今回(8/9)	
ウオッチ	1,210	1,350	1,350	±0	78	100	100	±0
電子デバイス	1,252	950	950	±0	△15	20	20	±0
システムソリューション		280	280	±0		10	10	±0
計	2,462	2,580	2,580	±0	63	130	130	±0
その他	460	480	480	±0	△0	10	10	±0
連結計	2,837	3,000	3,000	±0	55	100	100	±0

* 2012年度の「その他」は参考値

設備投資



研究開発費



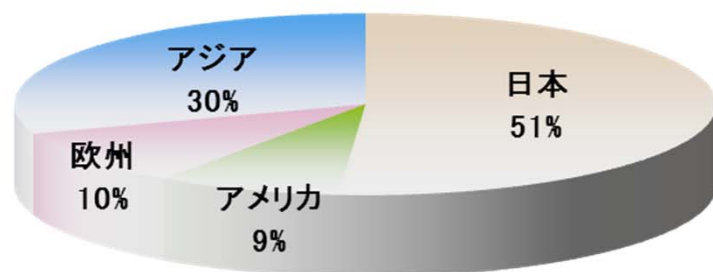
2013年度 見込期間為替感応度 (9か月分)

	USD	EUR
見込レート	90.0円	120.0円
売上高	約15億円	約1億円
営業利益	約3.5億円	約0.5億円

2013年度

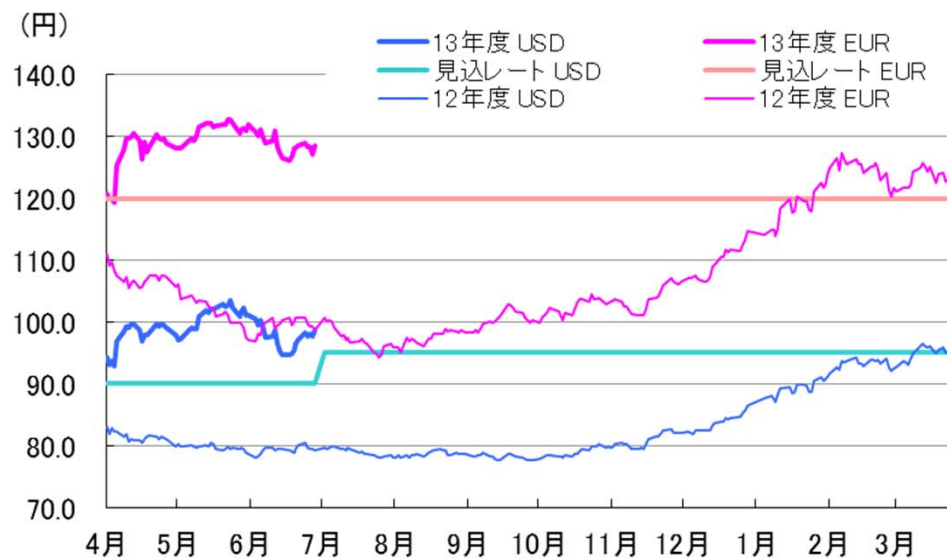
		Q1	見込レート
平均レート	USD	98.7	90.0
	EUR	128.9	120.0
決算日レート	USD	98.6	90.0
	EUR	128.5	120.0

地域別売上高比率



* 2012年度実績値

換算レート推移



End
